

平成 25 年 10 月 30 日

国公立大学図書館協力委員会委員長
飯島 昇藏 殿

国立国会図書館と大学図書館との連絡会
東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ
座長 米澤 誠

大学における東日本大震災にかかわる記録活動の調査への協力について(依頼)

「東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ」（以下「被災図書館記録 WG」という。）は、東日本大震災における大学図書館の被災・復旧経験を全国の大学図書館等で広く共有し、後世に伝えるため、関係する記録の保存を進めるとともに、その利活用の促進を目的として、「国立国会図書館と大学図書館との連絡会」（以下「連絡会」という）の下に設置され、平成 25 年 3 月より検討を続けてまいりました。

この度、被災図書館記録 WG での検討と、連絡会での議論の結果、全国の大学における東日本大震災に関する記録の公開状況調査を別紙の調査票で行うこととなりました。つきましては、全国の大学図書館への調査への協力の呼びかけにつき、ご協力のほど、お願い申し上げます。

なお、これまでの被災図書館記録 WG の検討結果につきましては、別添の「中間まとめ」をご覧ください。

また、調査結果につきましては、被災図書館記録 WG 最終報告書において公表する予定です。最終報告書は、国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）において、公開し、永く保存いたします。

(別紙)

大学における東日本大震災にかかわる記録活動の調査について

1. 目的

東日本大震災に関する大学での被災・復旧経験及び被災地、被災大学に対する支援についての記録の公開状況を整理し、東日本大震災に対する各大学の取組み状況を把握するとともに、その活動を広く周知する。

2. 調査結果の取り扱い等

記載された内容は、一つの資料で一覧できる形に集約し、被災図書館記録WGの最終報告書にまとめ、大学名と共に公表します。回答時点で記録の公開がない大学に関しては、回答総数のみ掲載することとし、大学名は公表いたしません。

回答事項のうち個別の連絡先に関する情報については、原則として本調査以外の目的には使用しません。ただし、調査票の内容をもとに、国立国会図書館から資料収集の可否について、回答書に記載された連絡先へ問い合わせをすることがあります。

なお、被災図書館記録WGの最終報告書は、国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）で公開し、永く保存いたします。また、ご回答頂いた調査票の保存方法・年限等につきましては、別途「国立国会図書館と大学図書館との連絡会」で検討・決定するものとします。

3. 調査票の回答期限、回答先

別添調査票に記入の上、平成25年12月27日(金) 17:00までに以下の宛先に電子メールにてご回答ください。

電子メール：hinagiku@ndl.go.jp

回答票等関係資料一式は、ひなぎくの以下のページに掲載しておりますので、適宜ダウンロードしてご使用ください。

<http://kn.ndl.go.jp/static/libkiroku>

なお、ご事情によりご回答が遅れる場合には、4. のお問い合わせ先に電子メール等でご連絡ください。

4. お問い合わせ先

国立国会図書館電子情報部電子情報流通課

東日本大震災アーカイブコンテンツ構築班

電子メール：hinagiku@ndl.go.jp

〒100-8924 東京都千代田区永田町 1-10-1 TEL : 03-3581-2331 (代表)